

Results of Environmental Review

- (1) Reference Number  
13-024
- (2) Project Name  
Construction of an ammonia & urea factory
- (3) Project Site  
Balkan, Turkmenistan
- (4) Project Outline  
Construction of an ammonia & urea factory
- (5) Category  
A
- (6) Reason of Categorization  
The project falls into the large-scale petrochemical sector under the Environmental Guidelines.
- (7) Environmental Permission / Approval by the Environmental Authority  
In July 2013 MoEP (Ministry of Environmental Protection) conditionally accepted the EIA (Environmental Impact Assessment) with some comments and requirements. In Turkmenistan the final version of the EIA, which is revised based on comments, must be submitted to MoEP to obtain the final approval after the presidential decree on plant construction is issued.
- (8) Pollution Prevention  
Appropriate measures are being taken regarding air quality, water quality and noise to meet domestic or international standards.
- (9) Natural Environmental Considerations  
There is no natural protection area or habitat for rare species near the premises. Seven species of birds designated for conservation in Turkmenistan fly around the project site. The project proponent is planning mitigation measures.

(10) Social Considerations

No involuntary relocation is required. There is no cultural heritage near the premises.

(11) Applied International Standards

World Bank Safeguard Policies

(12) Monitoring

The project proponent will conduct monitoring of air quality, water quality and noise in accordance with local regulations. The monitoring results will be reported to the environmental authorities.

(end)

## 質問事項

質問 1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所: Garabogaz Region, Turkmenistan

質問 2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

アンモニア/尿素プラントの新規建設プロジェクト。

質問 3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規  既往(苦情等あり)  既往(苦情等なし)  その他( )

質問 4. プロジェクトに関して、環境影響評価 (EIA, EIS 等) はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要 (実施済)  要 (実施中・計画中)  不要  
 その他( )

質問 5. 環境影響評価を既に実施されている場合、環境影響評価はプロジェクトを実施する国の環境影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み (附帯条件なし)  承認済み (附帯条件あり)  審査中  
 その他( )

(承認年月: ) 承認機関: )

質問 6. 環境影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み  取得必要だが未取得  取得不要  その他( )

(許認可名: Ecological passport )

質問 7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件 (例: 特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等) ですか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。  
No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes / No)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。  
No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民族のための地域、文化遺産等）
- (2) 原生林、熱帯の自然林
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟等）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民族、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域、もしくは特別な社会的価値のある地域

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

Yes /  No

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。  
No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

- (1) 非自発的住民移転 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m<sup>3</sup>/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: 約 60 ha ※土漠の平坦化)
- (4) 森林伐採 (規模: ha)

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境影響評価制度において、上記 (1) ~ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている  根拠となっていない
- その他 ( )

質問 11. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

Yes /  No

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。  
No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

質問 12. 環境影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト(例: 既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)に該当しますか？

Yes /  No

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。  
No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes) / No

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 14 にお答え下さい。  
No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業 (大型炉を含むもの)
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学 (原料製造。コンビナートを含む)
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) 有害・有毒物質製造・輸送 (国際条約等に規定されているもの)
- (11) 火力発電
- (12) 原子力発電
- (13) 水力発電、ダム、貯水池
- (14) 送変電・配電 (大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの)
- (15) 道路、鉄道、橋梁
- (16) 空港
- (17) 港湾
- (18) 下水・廃水処理 (影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの)
- (19) 廃棄物処理・処分
- (20) 農業 (大規模な開墾、灌漑を伴うもの)
- (21) 林業、植林
- (22) 観光 (ホテル建設等)

質問 1 4. プロジェクトの規模 (概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等) について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

約 60ha の敷地内にアンモニア製造設備 (2,000t/日) 及び尿素製造設備 (3,500t/日) の他に、構内道路、倉庫、オフィスビルディング、カスピ海からの取水・海水淡水化・排水設備、製品積み込み設備等、又、約 10km のガス配管設備 (既存パイプラインからの引き込み線) 等インフラも整備する。プラント内での消費を目的とした発電設備も建設する (発電設備容量は 34,000kW の Gas Turbine Generator 2 基と、3,000kW の Emergency Diesel Engine Generator 1 基)。

周辺環境への影響の観点から、環境影響評価が必要となる。